

## 岡山県環境基本計画（エコビジョン2040）（仮称）骨子案について

## 1 骨子案

**第1章 基本的事項****1 計画の目的**

- 県環境基本条例に掲げる基本理念のもと、環境の保全に関する施策を総合的・計画的に推進

**2 計画の位置付け**

- 環境の保全に関する総合的・長期的な施策の大綱を示すもの（環境に関する各分野の個別計画の基本となる計画）
- 環境の保全に関する施策を総合的・計画的に進めるために必要な事項を定めるもの

**3 計画の期間**

- 長期的な視点 令和22(2040)年頃を展望
- 短期的な取組 令和3(2021)年度～令和6(2024)年度

**4 計画の構成**

- 第1章～第5章、参考資料

**第2章 環境を取り巻く情勢と課題**

- 世界の情勢と課題（気候変動、海洋汚染、SDGs など）
- 国内の現状と課題（人口減少・高齢化、過疎化の進行、激甚災害など）
- 県内の現状と課題（気候変動対策、廃棄物削減・資源循環の取組、自然環境保全など）

**第3章 目指す姿****➤ 目指す将来の姿**

「より良い環境に恵まれた持続可能な社会」  
※わかりやすく共感を得やすい語句を付記する

**➤ 将来の姿の具体的なイメージ**

- ・ 気候変動対策が進んでいる社会
- ・ 資源循環の仕組みが構築された社会
- ・ 安全・安心な生活環境に囲まれた社会
- ・ 自然と共生する社会
- ・ 環境保全と経済発展が両立し、一人ひとりの意識や関わりのもと、誰もがより良い環境で暮らす社会

## 第4章 具体的な取組

### ➤基本目標

- ・気候変動対策（緩和・適応）の推進
- ・循環型社会の形成
- ・安全・安心な生活環境の保全と創出
- ・自然と共生した社会の形成

### ➤横断的な視点

- ・環境の未来を支える担い手づくり
- ・環境の未来を創る経済振興

※項目ごとに、重点プログラムと数値目標を示す。

## 第5章 計画の進め方

- 計画の推進体制、計画の進行管理、計画の見直し

## 参考資料

- 重点プログラムと指標の一覧
- 重点プログラムとSDGsの対応表
- 計画策定の経緯（審議会の開催状況、県民等意識調査・パブリックコメントの実施と結果概要など）
- 岡山県環境基本計画の変遷
- 関係法令 など

## 2 今後のスケジュール

- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| 令和2年8月 | 県民等からの意見聴取（県民の意見を聴く会ほか） |
| 9月     | 環境審議会での審議（骨子案）          |
| 11月    | 常任委員会（素案）               |
|        | 環境審議会での審議（素案）           |
|        | パブリック・コメントの実施（～12月）     |
| 令和3年2月 | 環境審議会（答申）               |
|        | 県議会への報告                 |
| 3月     | 公表                      |

## 3 環境に関する県民等意識調査の結果

別添「報告書（概要版）」のとおり

岡山県環境基本計画新旧対照表

次期計画				現行計画						
第1章	基本的事項	計画の目的		第1章	基本的事項	計画の目的	条例に掲げる基本理念のもと、環境に関する施策を総合的・計画的に推進			
		計画の位置付け				計画の役割	目標・施策の大綱、推進、役割と責任の提示、他の行政施策や計画の誘導・調整			
		計画の期間	長期的な目標：令和3(2021)年度～令和22(2040)年頃 短期的な目標：令和3(2021)年度～令和6(2024)年度			計画策定の背景	人口減少社会の到来			
		計画の構成					地球温暖化対策の推進			
							循環型社会の構築			
							環境教育・環境学習の充実			
							生物多様性を育む豊かな自然の継承			
							安全な生活環境の確保			
							事業活動における環境配慮			
						計画期間	平成20(2008)年度～令和2(2020)年度			
						計画の構成				
第2章	環境を取り巻く情勢と課題	世界の情勢と課題	気候変動	第2章	計画の目指すべき姿	計画により目指すべき将来	より良い環境に恵まれた持続可能な社会			
			海洋汚染			目指す将来のイメージ	環境の側面ごとにみた社会のイメージ	地域から地球環境の保全に取り組む社会		
			SDGsの採択				資源が効率的に活用される社会			
		新型コロナウイルスによる社会の変革								
		国内の現状と課題	人口減少・超高齢社会							安全な生活環境が保全されている社会
			東京一極集中・過疎化の進行							自然と共生した社会
			頻発する激甚災害							
		県内の現状と課題	気候変動対策							地域ごとにみた社会のイメージ
			廃棄物削減・資源循環							中国山地エリア
			生活環境の保全							吉備高原里山エリア
自然環境保全							市街地・田園エリア			
							瀬戸内海エリア			
第3章	目指す姿 ～長期的な目標～	目指す将来の姿	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 令和22(2040)年頃	第3章	主要施策	基本目標	地域から取り組む地球環境の保全			
		将来の姿の具体的なイメージ	気候変動対策が進んでいる社会			循環型社会の形成				
			資源循環の仕組みが構築された社会			安全な生活環境の確保				
			安全・安心な生活環境に囲まれた社会			自然と共生した社会の形成				
			自然と共生する社会			推進目標	参加と協働による快適な環境の保全			
		環境保全と経済発展が両立し、一人ひとりの意識や関わりのもと、誰もがより良い環境で暮らす社会				環境と経済が好循環した仕組みづくり				
第4章	具体的な取組 ～短期的な目標～	基本目標	気候変動対策の推進	第4章	重点プログラム	基本目標	地域から取り組む地球環境の保全	重点プログラム数：28 指標数：16		
			循環型社会の形成			重点プログラム数：114	循環型社会の形成	重点プログラム数：26 指標数：12		
			安全・安心な生活環境の保全と創出			指標数：68	安全な生活環境の確保	重点プログラム数：29(20) 指標数：24		
			自然と共生した社会の形成				自然と共生した社会の形成	重点プログラム数：19(17) 指標数：9		
		横断的な視点 (環境と経済、参加と協働)	環境の未来を支える担い手づくり				推進目標	参加と協働による快適な環境の保全	重点プログラム数：25(16) 指標数：3	
	環境の未来を創る経済振興				環境と経済が好循環した仕組みづくり	重点プログラム数：19(7) 指標数：4				
第5章	計画の進め方	計画の推進体制	協働、プロジェクト推進会議、審議会等	第5章	計画の進め方	基本的な考え方	推進体制			
		計画の進行管理	PDCA、進捗状況の公表等				継続的改善			
		計画の見直し	社会情勢の変化等							
参考資料	基本目標・重点プログラム・指標一覧	SDGs・重点プログラム対応表		資料編	用語集					
		計画策定の経緯	審議会、県民の意見を聴く会、パブリックコメント等の実施状況							
		県民意見等の概要	県民等意識調査結果、県民の意見を聴く会、パブリックコメント等の意見							
		岡山県環境基本計画の変遷	エコビジョン2010、2020の策定・改訂等の歴史							
		関連計画	岡山県地球温暖化防止行動計画、岡山県廃棄物処理計画等、環境に係る個別計画一覧							
		岡山県環境基本条例								